

9条ネット(比例区)と 服部良一さん・原和美さんの勝利を



権力者のしたい放題は許されない

いよいよ天下分け目の参議院選挙が始まります。

国民投票法が成立した今、憲法こそ最大の焦点です。9条ネットが掲げる「戦争より平和」、「戦争よりくらし」はけして大げさではありません。

最近明らかになった自衛隊の情報保全隊は反戦運動だけでなく、消費税、介護などの分野、更にはマスコミから高校生の活動にまでの監視していました。

これは戦争国家に向けて軍隊が公安調査庁、警察と一体になって国民を監視し権力者への批判を根こそぎ排除する体制がとられていることを示しています。この問題が明らかになっても防衛大臣は、情報収集を正当化し居直っています。国家が国民を支配するのは民主主義に反する憲法違反そのものです。

今国会では教育基本法の改悪に続き、権力者の意向をそのまま子どもに植え付け、現場教員ではなく管理職教員を増やし、上意下達をはかるために学校教育法などの関連法が改悪されました。安倍内閣はイラク特措法の延長など、自・公の多数を背景に強行採決の連続、まさにしたい放題の国会運営でした。



全ては労働者の責任に、
逆手にとって住基カードで国民管理

国民の関心事は「宙に浮いた国民年金」と言われています。この中で政府は国民に不評の住民基本台帳カードを年金加入者が将来、どれだけの年金を受け取るかが瞬時にわかる「年金カード」として使える方向で検討に入っています。

将来的には住基カードがなければ医療、年金、介護などの福祉サービスが受給できなくなるかもしれません。コードとカードによる支配はけして悪夢ではなく現実になりつつあるのではないのでしょうか。

そして見逃せないのは「社会保険庁を解体し、非公務員化します。職員はいったん退職させて、まじめに仕事をする人だけ再雇用する」・・・と自民党のビラに平然と書かれている点です。一体、誰がまじめか、そうでないかを判断するのでしょうか。結局は上に言いなりの労働者しか再雇用しないということです。国労を平気で差別し違法を繰り返した自民党は社会保険庁を解体、組合つぶしと民間大企業の利益を図ろうとしています。

そもそも、朝日新聞に寄れば社会保険庁は 30 年、40 年前から現在の状況が分かってお



きながら放置していました。トップの責任はそのままに、平職員に責任と労働強化を押しつけるなど、もってのほかではないでしょうか。

「候補者は平和憲法9条」です。

私たち新社会党はこの間の国政選挙では護憲の共同候補をめざして社民、共産両党へ働きかけてきました。しかしいまだに両党は独自路線を選択したままで変化は見られません。「平和憲法と9条」は社民、共産以外の支持層にも幅広く支持されています。9条ネットは社民、共産の健闘に期待しつつも自ら「平和憲法と9条」を訴えて参院選を闘います。

候補者には天木さん、藤田さん、ザキさんなど多彩な顔ぶれの10名がそろい、大阪では前泉南市議の小山広明さんを中心に動いています。

また大阪選挙区では社民党公認の服部良一候補を9条ネットとして推薦。比例区選挙と平行して闘うこととなります。既に安倍内閣の支持率は3割を切っています。

自民・民主・公明の対極として9条ネットを強く訴え、まさに憲法をめぐる国民投票として参院選を位置づけて私は闘います。

原則……「野党」3分の1の死守を！ 比例区は9条ネット

3人以上区は社民党 1・2人区は民主党(嫌だがしかたがない)



「9条改憲阻止」という単品目標を掲げた政治団体が現われた。9条ネットである。比例区9人、選挙区＝兵庫県1人、計10人の立候補を立て、政治確認団体である。3人当選という。みどりの党とか女性党とか単品政党は単純で分かりやすい。それが今回、「9条改憲阻止」一本の政策目標を掲げた「9条ネット」が出現した。10名の立候補者の1人が9条改憲阻止の会の「指導部」の「ナルチュウ」こと成島忠夫氏である。

9条ネットは、長い間、共産党と社民党とが「平和統一候補」を組み、当選させることに力を注いできた。共産党からはきつく袖にされ、社民党は態度をあいまいにし、「平和共同」の努力は無になってきた。

9条ネットは、屋内集会なら1千人近くを集める力を持っている。9条ネットは、10名の立候補者のうち、3名を当選させたいと言っている。社民党と同等の360万票を集めなければならない。私は、実践的直感から見て、120万票(1名)がせいぜいである、と思っている。

1名でいい。既成政党の外から、9条改憲絶対阻止の議員がいるのは。そして、改憲阻止ではなく、9条改憲阻止という一点突破全面攻撃路線をスローガンにされているのがいい。9条改憲阻止の会が取っている「大同小異」という組織戦術にもかなっている。

選挙区(地方区)で社民党が立候補しているところでは社民党を「支持」し、投票する。3人区では社民党は候補者を出している。

「民主党に投票する位なら棄権する」と考えている人も多いただろう。私もそうである。だが9条改憲阻止のためなら、なんでもする。「参院3分の1多数決」のためである。

「注意」以上の見解は、9条改憲阻止の会、代表世話人とは全く関係なく、あくまでも小川(登)個人の見解である。

(9条改憲阻止の会・関西ニュース No55 要旨) から